

# 追跡レポート

— あの質問のゆくえ —

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。

## 病室の個室利用について

個室の差額を徴収しない基準の中に、「終末期の患者で意識がなく、医師が判断した時」という項目を加えてはどうか。

平成 15年 9月定例議会

町長答弁

## 病院で十分に検討していく

終末期の患者さんに関して、症状などを考慮しながら、家族とも十分な話し合いを持って対応をしているところです。

基準に項目を加えることに関しては、病院内で十分に検討します。

どうなった

## 免除項目を追加

平成 15年 12月、町立病院の内規である『差額ベット使用基準』に「終末期の患者で主治医が必要と認めた時(ただし、死亡日を含めて3日間の免除とする。)」という項目を追加しました。



増える個室利用の希望者

## 議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局(85-6135)へお問い合わせください。

次の定例議会は **3月** です

● 議会中継もご覧ください

お手持ちのパソコンでご覧いただけます  
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.townshiratakeyamagata.jp/gkai/>

議会中継

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
「格差社会、原油の高騰、ねじれ国会、米価の下落」など先行き不安感をぬぐいきれないまま、雪国らしくらぬ穏やかな中で、年明けとなりました。  
昨年をふり返れば、凶悪な事件の多発や、大手や老舗で相次いだ様々な食品偽装、政治資金や年金問題など政官のモラルの低下が著しく、社会への信頼を揺るがす出来事も多い年でした。そんな中で、日本社会の姿が凝縮された世相を表す昨年の漢字に「偽」が選ばれました。新年にあたり気持ちを切り替え、「偽」を払いはし、今年の漢字こそはと、期待したいものです。そんな思いを込めながら、新たに編集スタッフに参加させていただくこととなりました。  
議会報の使命、分かりやすさと真実・公正・公平な姿勢に徹してまいります。  
(青木)

発行責任者・議長  
**船山 仁**  
広報委員  
委員長 **青木 彰榮**  
副委員長・編集長 **関 千鶴子**  
委員 **佐藤 誠七**  
**守谷 丹吾**  
委員 **菅原 隆男**  
印刷・(有)梅津印刷